

総評

数学・国語・理科は難しめ、英語と社会はやや易しめの出題で、全体としては標準的な難易度の出題でした。

2年生になると、学習内容は一段難しくなり、差がつきやすくなります。内申点では、1・2年生の成績が全体の7分の4を占めるので、今のうちに入試を見すえた具体的な目標を立て、目標に向かって頑張りましょう。

道コンなどの試験も、範囲が広くなるにつれ、入試に近い出題が増え、教科書内容をひとつお理解しただけでは高得点を得るのが難しくなってくるでしょう。

基礎・基本の定着はもちろんのこと、今後はより入試に近い実践的な問題に挑戦し、慣れていく必要があります。今回の試験でよい成績だった人も、油断することなく、一層の実力アップにチャレンジしてください。

国語

難しい出題でした。

㊦の漢字の読み書きは、とても難しい出題となりました。漢字を覚える際には、その漢字がどのような漢語に使われているのかを幅広く確認しましょう。㊧は、問一で出題された文節どうしの関係を理解できていない人が多かったです。問五は、得点率が全体で一番低くなりました。問題を解くための表現を複数の部分から見つけ出す力が重要になります。㊨・㊩は、全体的によくできていましたが、㊪の問二(2)は、書き抜く部分が傍線部から離れていたためか、得点率が低くなりました。文章全体を広く見渡す必要があります。㊫は、時間がなかったためか、基本的な問題でも得点率が低くなりました。自分で決めた時間内に、問題を解いたり文章を読んだり、工夫しながら日々の学習に取り組みましょう。

数学

非常に難しい出題となりました。出題範囲は中1の学習内容ですので、間違えた問題は必ず見直し、新年度に不明点を残したままにしないよう心がけましょう。

①は基本問題です。問6、問7はいずれも作図でした。通るべき点を通っているか、記号の書き漏れはないかなど、自分以外の人へ解答を見せることを意識して作図しましょう。②問2や③は読解量が多い問題でした。近年、高校入試でも読解力を必要とする問題が増えています。状況を整理して立式できるよう、早いうちから練習しましょう。④問3は得点率がたいへん低くなりました。面積を求めて考えるのではなく、図形の性質から考える点がポイントでした。⑤は時間が足りなかったかもしれませんが、なぜその答えとなるか、解説を見ながら改めて考えてみましょう。

社会

易しめの出題でした。

地理分野では、基本的な語句はよくできていましたが、時差や雨温図などの問題は得点率が低くなりました。また、③問3、④問8の記述問題では、問題の指示に従って書いていない答案が多く見られました。記述問題は指示に従って解答を作成するよう心がけましょう。

歴史分野も基本的な語句はよくできていましたが、⑤問1Xの「秦」、⑧問3の「倭寇」などは誤字が多く見られましたので、解き終わったあとによく見直すようにしましょう。歴史分野は、基本的な語句を覚えるだけでなく、できごとの前後関係やおおまかな流れをつかむことも大切ですので、⑥問4、⑦問5のような年代並べかえ問題を苦手としている人は、教科書の年表などを利用して、歴史の流れを確認しておきましょう。

理科

やや難しい出題でした。

①は全体にできていましたが、問3が難しかったようです。それぞれのグループに分類される植物を数種類ずつ覚えておきましょう。②は、問4が見慣れない形式の問題で難しかったかもしれません。③は、問3～5が、思考力・計算力を必要とする問題で得点率が低くなりました。④は、全体によくできていました。間違えた問題があった人は、代表的な気体の性質、発生方法と集め方はしっかりと覚えておきましょう。⑤は、問2ができなかった人が多かったようです。物体を動かしたとき、実像ができる位置と大きさがどのように変化するか確認してください。2年生で学習する内容は非常に多く、難しい内容も増えます。今のうちに1年生で学習した内容をしっかりと身につけておきましょう。

英語

やや易しめの出題でした。

①のリスニングは比較的よくできていました。

②問3の適語補充の問題は得点率が非常に低くなりました。「Do you have any questions?」という表現を知らなかった人はしっかりと覚えましょう。

③問1は「What do you ~?」などの進行形の疑問文の誤りや、「studing」などの進行形の表現の誤りが目立ちました。どちらも非常によく見られる誤りです。間違えた人は正しい表現方法を覚えましょう。

④問2(1)・(2)では、「baseball」や「math」などで非常にスペルミスが目立ちました。

単語や文法のミスなど、間違え方は人それぞれだと思います。自分の苦手分野をそのままにせず、2年生の学習が進む前に復習しておきましょう。